

2024年度なは市民協働大学院 最終成果発表会 & 修了式



なはセン通信

Vol.102

2025年
2月号

目次

なは市民協働大学院 イベント・講座	1
なは市民活動支援事業	2
なはセンについて	3
	4

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

2024年度なは市民協働大学院

12月7日(土)なは市民協働プラザにて、2024年度なは市民協働大学院最終成果発表会・修了式が実施され、20代前半から80代までの受講生30名が修了しました。

那覇市内を首里・真和志・新都心・中心市街地・那覇西・小緑の6地域に分け、7チーム(首里は2チーム)が、「じつくり」「しつかり」「ちゃっかり」地域の課題発見・解決についてこれまで学んできたことの集大成として発表をしました。

トップバッターの①古島あしびな(真和志)は、松島小学校区に子どもたちの自由に遊べる場所を作り、子どもたちを中心にその周りの大人たちも関わり合い、希薄化する地域コミュニティが再び活性化されるという内容の発表をしました。②アーバン小緑(小

緑)は、垣花小学校区を中心に、オープンチャットの導入、普及を行うことで、地域住民が防災・防犯情報を共有し、自治会とPTAに新たなつながりを生み出すことで、安心して暮らせる地域づくりを提案しました。③新都心チームは、「安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、安謝小学校区の高齢者が安全に避難できるよう、災害時の避難行動に関する課題解決の企画提案を行いました。④チームカラース(中心市街地)は、壺屋小学校区の商店街の「魅力発見」をテーマに、商店街の雰囲気を感じて、魅力に触れ、防災に役立つ「色」「アルファベット」「数字」を組み合わせたまちぐわーサインの確立を目指す提案をしました。⑤夕日を見る会(那覇西)は、天妃小学校区にある三重城海岸を地域の人たちが繋がる憩

いの場にし、夕日がきれいな映えスポットとしての認知度をあげていけるように様々なイベントを開催していきたいと意気込みを語りました。⑥「すばんちゅグループ」(首里)は、城北小学校区で《沖縄そば作り》を通じた高齢者の居場所づくりを目指して、城北小学校で実際に企画を実施し、その時の様子をストーリー仕立ての動画を使って発表しました。⑦「すいすいwithプロジェクト」(首里)は、同じく城北小学校区で、Wi-Fiを活用しながらリアルな交流や活動の促進と一見対照的なアナログとデジタルを活用した手法で、多世代の居場所づくりの企画を提案しました。

寸劇やイラストなど、各チーム趣向が凝らされ、笑いあり、そして、少しの涙あり...と、とても興味深く、魅力的な成果発表会でした。

受講生の皆さん約半年間お疲れ様でした！



修了生による代表挨拶

《第1弾》チャレンジ！オープン！ガバナンス！2024へ挑戦！

チャレンジオープンガバナンス（COG）とは？

市民も変わる、行政も変わる！！
オープンガバナンス

東京大学公共政策大学院が主催の市民と行政が協働のもと『3つのD（データ、デザイン思考、デジタル）』を活用した新しい発想で地域課題を解決することを目的としたアイデアコンペです。

那覇市とチャレンジオープンガバナンス…

那覇市では、令和元年度よりチャレンジオープンガバナンス（以下、COG）に参加しています。特に、昨年度は那覇市からは過去最多の6団体が応募し、その中の3団体が各種賞を受賞するという快挙を果たしています。

今年度は、昨年度に引き続き、なは市民協働大学院で学びを深めた各チームをはじめ、那覇市から5団体がCOGヘントリーをしています。今回の記事は、その参加チームの紹介となります。

今年度エントリーした団体と企画概要

①古島あしびなー（2024年度大学院真和志チーム）《企画概要》真和志地区の公園にて、子どもを真ん中に多世代が主体的にかかわるプレーパーク



COG2024のホームページを

をつくることで、地域の活性化を図る。

②アーバンおろく（2024年度大学院小緑チーム）《企画概要》垣花小学校区で、地域住民が防災・防犯情報を共有できるオープンチャットを導入・普及し、安心して暮らせるまちづくりの第一歩を目指す。③なほしてんとうむし会（2023年度大学院中心市街地チーム）《企画概要》観光客も地元客も働く人も守りたい！津波警戒区域の沖映通りの安全と安心を、楽しみながら一緒に考える。④ミネコヤ（2023年度大学院首里チーム）《企画概要》石嶺小学校区で、地域の人々のコミュニティ参加と、よりよく生きるための選択肢を持てる地域づくりの仕組みとして「結HUBサイクル」の構築に取り組む。⑤すいリンク（2024年度大学院首里チーム）《企画概要》城北小学校区で、子育て世帯が中心となつて取り組む子どもの居場所づくり活動の輪を、多くの世代に広げていくことで、「地域に住んでいる人たちの顔がわかる」ミライを目指す。

なは市民協働大学院修了後、企画の実践等、さらに企画がブラッシュアップした企画がエントリーされています。今後も、各チームの動向を本紙にて発信してまいりますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



イベント・講座

◇小規模多機能自治の視点から小学校区まちづくり協議会のあり方を考える

10月21日（土）川北秀人氏を講師として迎え、自治会関係者をはじめ、小学校区まちづくり協議会、中間支援団体の皆様と「小規模多機能自治」について学びました。

冒頭は「某料理番組のレシピは、何人前で作られているでしょうか？」という問いから、某料理番組の放送が開始された1950年後半と現代の家族要員数の変化に触れました。放送開始時には5〜7人前で作られていたレシピが、今では、2〜3人前で作られていることから、小家族化が70年弱で進行しているとのこと。その背景として、第3次産業の発展が挙げられました。また、「共働き」や「働き方改革」「コロナ禍」など、様々な要因が小家族化に繋がっているとあり、この小家族化が、家族要員の中に地域事業に参加する時間を設けることが難しい状況を生み出しているとの説明がありました。

那覇市においても、このような社会変化が、地域に関わる人材不足及び地域課題解決において大きな影響を与えています。さらに今後、日本本土を追うように10年遅れで、超高齢社会に向かっていることから、高齢化の対応はもちろんのこと、それに加え、インフラ・ハコモノ（道路、トンネル、橋など）の更新の時期も同時に訪れていることについて触れられました。

以上のことから、今後、自治体の業務はより増加していき、さらに、人口減少に伴う職員の減少も懸念視されていることから、「自治会」などといった《地域の繋がり》こそ超高齢社会に向けた対策として重要になっていくと伝えられました。

しかし、全国にある多くの自治体が、複雑に絡み合う課題を抱えており、特に「人材育成」と「人材の確保」に大きな課題があるとされています。家族構成及び働き方の変化から、家族要員の中で地域事業に関わる人手の不在や、今後、定年年齢も70歳までに引き上げられることからアクティブシニア層の獲得もより一層困難を極めてくると危機感が伝えられました。

国や県が行っている調査をもとにしたデータ分析における2030年の那覇市は、市民6人に1人が後期高齢者（75歳以上）と想定されていることから、自治会及び小学校区まちづくり協議会といった地域コミュニティが「命と暮らしを守るため」の存在として機能が求められるとあり、その事例として、真地団地自治会の取り組みが紹介され、自治会の重要性と可能性について話がありました。

最後に、本来の自治のあり方に立ち返りながら、地域がより主体的になること。また自治会が行政の窓口を一部担うことや、自治会を担う人材の育成を行政も一体となり行うことなど、地域事業に関しても、福祉と防災を中心に見直しをするなど、今後を見据えた地域事業のあり方について触れ締めくくられました。



川北氏（中央）とまちづくり協働推進課職員

今月はココ!!

なは市民活動支援事業 助成団体活動シリーズ

◆ななほしてんとうむしの会

去る12月15日(日)にジュンク堂にて、沖縄通りの防災活動に取り組んでいる「ななほしてんとうむし会」(昨年度なは市民協働大学院で結成され、今年度なは市民活動支援事業助成金を活用)のイベントが行われました。

那覇市協働大使で地域防災マネージャーの松田博之氏による沖縄通りでの地震、津波対策の講話がありました。

沖縄通りの店舗の皆様が避難場所(垂直避難)に精通することや初動の身を守る具体的な行動について、また元々は海だったこの辺りの地理的特性についてなど学びました。

ななほしてんとうむし会の活動の成果である防災観光マップは、観光客や地元客、労働者、住民にとっても役立つマップなので、ぜひ活用していただきたい、とのことでした(ジュンク堂でも無料配布して欲しいとのこと、代表の知念さんより森本店長に贈呈がありました。さらに、海拔表示ステッカーも通りの店舗に配布することです(沖縄通りの海拔は2~4m)。関係者みんなでのりの防災意識を高めていければいいですね。

【ななほしてんとうむし会の語源】

なは市民協働大学院7期生であることと災害時高いビルに避難する垂直避難のイメージからきているそうです。



◆株式会社FROGS

(株)FROGSは、那覇市の小中学生に探究型の学びを提供することで、子どもたちの自己肯定感やチャレンジ精神をはじめとする非認知能力を育み、自ら社会課題の解決策を考える「なはミライアカデミー」を9月~12月の約4か月実施しました。

小学4年生~中学1年生のアカデミー生21名の最終成果発表会が12月14日(土)に那覇市文化芸術劇場なはーとで開催されたLEAP DAY 2024にて行われました。

「忘れ物をなくしたい」という身近なテーマから「新しい発電方法」といった幅広い課題について、自分自身で設定したテーマをどのように解決するかを1人5分ずつで発表しました。アカデミー生は、始めは緊張しているようでしたが、皆さん堂々と発表していました。

コメンテーターは古謝玄太副市長と外間有里議員で、一人一人に丁寧にコメントされていました。司会進行役でアカデミーの講師をしていた畑中さんより最後にコメントがあり、子どもたちが、この4か月間一生懸命考え、調べ、人に伝えられるようになるまで成長したことが伝わり、大変感動しました!



ボランティアマッチングコーナー

ボランティア体験記

那覇市人材データバンクとは? ~那覇市のボランティアマッチング~

「ボランティアをしたい個人・団体」と「ボランティアを求める団体」とのマッチングを行い地域社会の課題解決につなげます!



活動団体を調べる!

自分の興味関心のもとにどんな活動があるか調べてみよう。



ボランティア登録をする!

ボランティアをしたい個人・団体も、「求める」団体も...まずは、登録から...!

訪問先

team AMMA(チームアンマー)

主な活動地域

那覇西湾岸地域(若狭地域周辺)

ボランティア参加日

令和6年12月28日(土)

場所

若狭公民館(県庁前駅から徒歩15分)

※通常は若狭児童館

ボランティア内容

ネパール料理の手伝い、調理場及び集会室の片付け等

ボランティア担当 嘉数



那覇市に住む在留外国人人口の約7200人のうち約2800人(2024年6月時点、「在留外国人統計」より)がネパール人であり、在留ネパール人コミュニティは、市内で最も大きな外国人コミュニティとなっています。特にteamAMMAの活動地域である那覇西湾岸地域は、日本語学校が集中しており、ネパール人をはじめとした多くの在留外国人がこの地域に集中しています。また、この地域は津波浸

水区域にも指定されていることから災害時の外国人対応に課題を抱えています。ネパールは内陸国であるため沖縄で起こり得る災害(津波、台風など)に馴染みがなく、また、防災意識の違いもあるという背景から、teamAMMAは毎月第4日曜に若狭児童館にて「朝食を食べながら防災を学ぶ」AMMAモーニングを開催しています。有事の際には共に避難や避難所生活をする地域の方と交流し、互いの理解を深めることも活動の一環として重きを置いています。今回は、年内最後のAMMAモーニングということで、ネパール人学生を中心に地域住民やボランティアと一緒にネパール料理を作り、楽しい雰囲気の中、片付けまでを行いました。ぜひ、teamAMMAの活動をチェックし参加してみてください!

なは市民活動支援センターについて



◆施設利用料金 ※1時間当たりの料金 ※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	84人	約200㎡	1,300円	400円
会議室②③	80人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	30人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	20人	約45㎡	250円	100円
研修室①	16人	約30㎡	200円	100円
研修室②	16人	約30㎡	200円	100円

◆駐車場 について・・・

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9：00-21：00
水・土・日	9：00-17：00
休館日	年末年始・慰霊の日など

◆めかる学習ステーション

開館時間中、なは市民活動支援センター 2 階を学生・社会人向けの自習スペースとして開放しています！
それぞれの学習ペースに合わせてご活用ください。

貸し出し中！

なはセンお薦め図書

ネイバーフッドデザイン

まちを楽しみ、助け合う「暮らしコミュニティ」のつくりかた

(著) 荒 昌史
(編) HITOTOWA INC.

自分の住むまちを良くしたいすべての人のための一冊
みなさんが描く「まちの未来像」とは、どのようなものでしょうか？「そのまちに住む人々のもっとこうなったらいいなあを組み上げていった先に自然と見えてくるもの」。この本の中ではこう書かれています。
「ゆるやかなつながり」がまちの未来を変えていく。
そんな「ネイバーフッドデザイン」ってなに？！
ネイバーフッドデザインが人々にもたらす価値とは！
まちの課題を解決した実践例も交えて紹介されています。

私が紹介します！



スタッフの
おすすめ



イベント情報

令和6年度なはSDGs推進事業～多様なつながり地域づくり～

社会を変える
お金の使い方を考える
地域円卓会議

那覇市で始まった「那覇市版SIB」（成果運動型助成）の中間報告を通してお金の出し方・使い方をみんなで考える

申し込みはココから

2/8 (土) 10:00～13:00

沖縄国際大学 厚生会館4階ホール
(宜野湾市宜野湾2丁目6-1)



よろず相談

那覇市における市民活動に関する相談サービスです。
なお、相談希望の場合は原則予約制となっております。ご予約は、QRコードよりお願いいたします。

～相談日時～
月・水・土
10：00～17：00
金
14：00～20：00

